



企業、行政、公共機関、ベンチャー、NPO/NGO で活躍し、  
ICT を基軸とした社会的イノベーションを先導

Shape the Future  
問題発見+ビジョン+価値創造 + デザイン+コンセンサス+組織力+戦略 PM



2014.7.25

# GCL

ソーシャルICT  
グローバル・クリエイティブリーダー  
育成プログラム

## 世界を変え、未来を創る。

# 求められる人材

**2005.6.21 :**

**「実践的高度ICT人材」  
(高度ITスキル, ソフト  
開発, セキュリティ,  
業務効率化・革新)**



グローバル化  
新興国競争  
オフショア化

**2011.10.18:**

**「ICTを活用した  
変革を牽引するリーダー  
人材」  
(イノベーション創出,  
社会システムデザイン)**

## 概要

### 1. はじめに

わが国が直面する数多くの社会的課題を解決し、再生・発展に繋げるための鍵は「人材」。課題解決のためのイノベーション創出には、ICT（情報通信技術）の活用が不可欠であり、高度 ICT 人材の育成に向け産学官の更なる連携強化が必要。

### 2. 高度 ICT 人材育成の必要性

高齢化、エネルギー・環境問題、震災からの復旧・復興などの社会的課題解決、わが国の「ものづくり」を支える組込みソフトや企業経営の効率化など国際競争力強化、インターネット社会における巨大なデータ処理による新たな価値や新産業創出に向け、高度 ICT 人材育成が急務。

### 3. 企業が求める高度 ICT 人材像

企業の業務プロセス全体を把握しつつ、システム設計のみならず新たなプロセス設計ができる ICT の利活用人材が必要。また、様々な情報、機器、ヒトの融合による新しい社会の創造に向けて ICT を利活用した変革を牽引していくリーダー人材が必要。

### 4. 産業界のこれまでの ICT 人材育成支援活動と課題

経団連では、これまで、拠点大学（筑波大学・九州大学）において、企業講師派遣、PBL(プロジェクト遂行による実習)、インターンシップ受け入れ等、最新動向に基づいた実践的カリキュラムを開発実施し、学生、就職先企業からも高い評価。支援活動に係る経費の確保、教育ノウハウの蓄積・普及等、中長期的な継続性確保が課題。

### 5. 高度 ICT 人材育成のための具体策

#### (1)大学・大学院が取り組むべき施策

- 産学連携をさらに強化し実践的教育を多くの大学(院)において実施・拡大すべき。
- ICT を用いてイノベーション創出、新たな社会システムのデザインを担う博士課程を含めたリーダー教育が必要。経団連は東大大学院と WG を発足。
- 大学学部教育における ICT 基礎科目の必修化。

#### (2)政府が取り組むべき施策

- 個々の大学と産業界の自助努力のみによる実践教育には限界。社会的な意義を踏まえ、十分な予算措置が必要。
- 実践的教育資産の蓄積、普及、評価・改善を継続的に行う拠点を構築する必要。

#### (3)企業が取り組むべき施策

- 企業講師の派遣やインターンシップの受け入れ、PBL などの研究テーマの提供やケース・スタディへの協力。
- 大学（院）における取得講座内容や成績を重視・評価した採用活動。
- 入社後の継続的教育やキャリアプランの充実、スキル標準の活用。
- 社会的課題解決に向けた大学との共同研究の推進。

# 進捗概要

- 独自カリキュラムを計画通り実行：  
GDWS, 独自講義群（含外部講師）, 実践英語, プレゼンコンペ,  
GD TechTalks（シンポ, セミナー等）.
- 評価・改善：評価・計画WG（学外委員）, 外部評価,  
カリ改善学生教員意見交換会. 講義等見直し, 再編成.
- 学生評価システム：GDWS-Rubric, TOEIC, コンペ, ...
- 2年次選抜：57⇒20名. 博士編入：6名.  
農林水産省官僚をはじめとする意欲的な人材を採用.
- インターンシップ制度整備, 計画申請審査.
- 学生主導企画（OECD学生交流会, 京大合同合宿,  
海外語学合宿, GCL/Executive Lunch,  
News Letters, CVSA International Conference  
招待講演（医学系 M2）, 等）.
- 対外活動：OECD共催 玉木事務次長講演会,  
東大・経産省・JUAS共催CIO百人会, 学術会議シンポ, Leading7, 等

7月24日(木) 16:00~17:30  
(開場 15:30)  
玉木林太郎 OECD 事務次長講演会

東京大学本郷キャンパス  
工学部2号館212号講義室

今後50年の世界経済は?  
国際機関で働くということとは?

「OECD100」プロジェクトは、1961年に設立された  
OECD(経済協力開発機構)が100周年を記念して2010年春  
発表し、今後50年の経済・社会構造変化の予測と分析  
「政策課題」を示した「Policy Challenges for the Next 50  
Years」を7月上旬に公表しました。今回の講演会ではこれ  
に基づき、世界経済の展望をお話しいたします。

さらに、「国際機関で働く」とことについても講演いたします。  
玉木事務次長は経産省で約17年のOECD事務局  
で二重勤務されており、豊富な経験に基づいた最新の  
様子などのお話を伺えることができます。貴重な機会です。アプレ  
視察への参加に興味をお持ちの方もぜひご参加ください!

なお、講演終了後には学生向けの座談会も予定されていま  
す。玉木事務次長と近い距離で話すことができる貴重な  
機会ですので、ご参加をお待ちしております。  
(申込は先着順です。参加を希望される方は、  
oecd@u-tokyo.ac.jpまでお申し込み/お電話ください。)

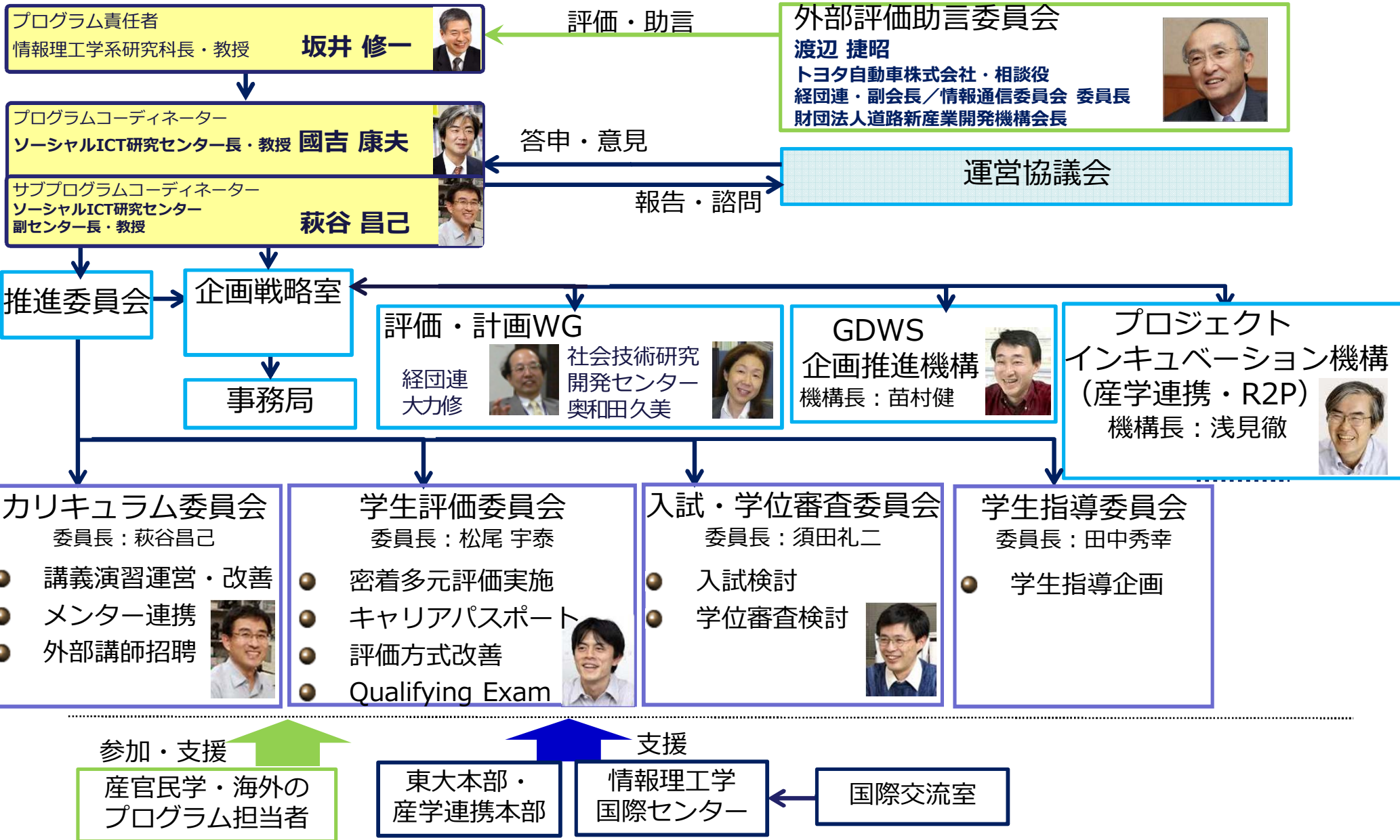
講演者：玉木林太郎氏  
OECD(経済協力開発機構)事務次長兼「アノエコノミスト」1976年東京大学法  
学部を卒業し、同年入省。入省、2007年10月財務省理財局長、2009年からは  
財務省として活動。2011年より現職を務める。

OECD(国際協力開発機構)とは、世界40カ国の経済・社会発展のために相互に協力を促進する目的で設立された国際機関です。詳しく  
は [www.oecd.org](http://www.oecd.org) をご覧ください。また、OECD Student Ambassador Project、日本のOECD(学生大使)募集プロジェクト、学生が世界中で活躍する  
「OECD Student Ambassador Project」の募集要項は [www.oecd.org/isa](http://www.oecd.org/isa) からダウンロードいただけます。また、OECD Student Ambassador Project  
の募集要項、応募資格等については [Facebook: <http://www.facebook.com/OECDJapan>](http://www.facebook.com/OECDJapan)、Twitter: [@OECDJapan](http://twitter.com/OECDJapan)

主催：OECD Student Ambassador Project 東京大学チーム  
共催：OECD、東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム



# GCLの魅力 (産官学連携によるリーダー育成体制)



# GCLの魅力 (学際性)

## 東京大学 9 部局 17 専攻

### 1. 情報理工学系研究科

コンピュータ科学/数理情報学/  
システム情報学専攻/電子情報学/  
知能機械情報学専攻/創造情報学専攻

### 2. 学際情報学府 学際情報学

### 3. 工学系研究科 都市工学/電気系工学

### 4. 医学系研究科 社会医学 / 健康科学・看護学

### 5. 農学生命科学研究科 農学国際

### 6. 教育学研究科 総合教育科学

### 7. 経済学研究科 経営

### 8. 公共政策大学院

### 9. 法学政治学研究科 総合法政

## 【多彩な講義】

メディアコンテンツ学部型横断教育プログラム  
メディアコンテンツ特別講義 I  
金曜日 18:30-20:00  
工2号館1F213講義室  
全講義室変更になりました。旧、627/11号室の21講義室での開催となります。  
工学部電子情報工学科/情報理工学系研究科  
担当教員: 相澤, 喜連川

2014年4月18日開講

4/18 「インベーションのトレンドへの挑戦」  
Windows開発元マイクロソフト「マナ・マネジメントの秘密」  
マイクロソフト(ベトナム)株式会社 橋内 博樹  
(東京大学総合イノベーションセンター客員研究員)

4/25 「Egoのブレイクthroughへの挑戦」  
副島 謙 (Sony Music / ACCESS共同創設者)

5/2 「Mobile Innovation and You」  
Google Inc. Chris Yengo (Engineering Director)

5/9 「生命産学」  
株式会社イノベーション・マーケティング 葉山 真 (取締役/創設者)

5/23 「世界最大のクラウドプラットフォーム-AWSの  
クロス戦略」ピタゴラス株式会社 伊藤 誠 (クロス戦略)  
・企業戦略 (経営学系専攻)

6/13 「日本のインターネットサービス」  
世界最大のモバイルOSメーカー  
株式会社エヌ・エス エス 小池 賢治 (取締役)

6/20 「グローバル企業・ソフトウェア「LINE」の成長と戦略」  
LINE株式会社 堀川 良 (代表取締役)

6/27 「リクルートが提供するWebサービスの事例」  
リクルートホールディングス株式会社 本郷 俊 (取締役/CTO)

7/4 「ニコニコ動画サービスとインターネット社会の発展と考察」  
株式会社ニコニコ動画 藤田 隆 (取締役)

7/11 「高品質なサービス提供と顧客満足度の向上」  
株式会社サービス・デザイン 藤田 隆 (取締役)

7/18 「Yahoo! JAPANに学ぶデジタルマーケティングの活用と今後の展望」  
株式会社 Yahoo! JAPAN 藤田 隆 (取締役)

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)  
グローバル・クリエイティブリーダー講義 X  
イノベーター倫理  
夏学期 月曜日 18:30-20:00  
工2号館 10F 電気系会議室5  
担当教員: 奥村 祐一



東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)  
グローバル・クリエイティブリーダー講義 XI  
国際標準と  
ソーシャルICT  
冬学期 水曜日 18:30-20:00  
工2号館セミナー室2.3  
担当: 池田 秀明, 田中 正昭, 若重 真秀

1. 全体のオリエンテーション
2. ビジネス戦略に必要となる要素とはなにか?
3. 自らが作成した「標準化の分析」
4. 戦略の違いによる差は?
5. 知財と標準の関係は?
6. 技術の普及と技術化の時期に標準はどのように影響するか?
7. 世界の標準化のルールとの関係は?
8. マーケティングの立場は如何なるか? (適合性評価)
9. 国際標準とは? (認定申請)
10. ソーシャルICTの可能性は?
11. ソーシャルICT標準化  
(IEC 60417 Graphical Symbols for use on equipment)
12. 演習及び講義
13. レポートの作成と発表
14. まとめ

GCL事務局: gcl\_sec@gcl.u-tokyo.ac.jp



## 【ワークショップ】



# GCLの魅力 (魅力的な講義講師(抜粋))

喜連川 優 (ビッグデータの世界的権威)



ツイッターは見た瞬間の感情を  
表出するメディア

NHKスペシャル (2014年3月2日21:00-21:58)

「震災ビッグデータfile 3 "首都パニック"を回避せよ」

国立情報学研究所長, 東京大学生産技術研究所  
情報融合国際研究センター長, 地球観測データ統融合連携研究機構長,  
情報処理学会会長, 電子情報通信学会副会長, 日本データベース学会理事,  
情報処理学会フェロー, 電子情報通信学会フェロー)

2005~2010年度 特定領域研究

「情報爆発時代に向けた新しいIT基盤技術の研究完了したプロジェクト」

2008~2012年度 文部科学省 科学官 **米ACM Codd賞を日本人として初受賞**

2009年度 SIGMOD Edgar F. Codd Innovations Award

2009~2011年度 国立国会図書館 科学技術関係 資料整備審議会委員

2009~2013年度 最先端研究開発支援プログラム (FIRST)

「超巨大データベース時代に向けた最高速データベースエンジンの開発  
と当該エンジンを核とする戦略的社会サービスの実証・評価」

2011年度~ 学術会議会員 (第22期)

2012年度~ ACMフェロー

2013年度~ 情報処理学会会長

**2013年秋 紫綬褒章受章**

田中 正躬

(日本規格協会  
特別アドバイザー)

経産省 標準行政責任者,  
ISO会長などの要職を歴任

通商産業省にて、産業行政のほか、原子力を始めとし広い産業分野にまたがる研究開発に係る企画立案及び研究管理や国際交渉等の業務に従事。平成5年からは経済産業省の標準行政の責任者となり、ISO理事、アジア太平洋標準会議の議長を務め、平成10年退官し、日本化学工業協会副会長を経て現職。平成17年から2年間にわたりISO会長、平成22年まで米国の標準機関ASTM理事、現在は日本工業標準調査会の副会長等を務める。

**2014年春 瑞宝中綬章受賞**



大江 和彦

(東京大学・医学系研究科 教授)

医療IT化,  
電子カルテの発展に貢献

2000年より日本医療情報学会理事、  
2010年より副会長。国際標準化機構  
ISO/TC215 WG3エキスパート。

2008年より現在まで厚労省保健医療  
情報標準化会議議長

2007年より現在まで日本医学会医学  
用語管理委員会委員。

2008~2011年 日本医学会

第28回日本医学会総会展示委員長

2001年 医療情報標準化協議会設立

発起人代表、同初代会長 (2001.5

2005.7)、同理事 (2001.5 現在)

など



講義例1：  
メディアコンテンツ  
特別講義 I  
(夏学期 金曜18:30~20:00)  
相澤 清晴, 喜連川 優

- 講義登録者が  
300名を超える  
GCL人気講義

メディアコンテンツ学部型横断教育プログラム  
メディアコンテンツ特別講義 I  
金曜日 18:30-20:00  
工2号館1F213講義室  
☆講義室変更になりました。但し、6/27,7/18は元の241講義室での開催となります。  
工学部電子情報工学科/情報理工学系研究科  
担当教員:相澤, 喜連川

# 2014年4月18日開講



4/18	「イノベーションのジレンマへの挑戦 -Windows開発におけるプロジェクトマネジメントの実際-」 マイクロソフトディベロップメント株式会社 陣内 裕輔 (業務執行役員 オペレーティングシステム開発統括部 統括部長)
4/25	「ものづくりベンチャーの新潮流」 鎌田 寛久 (TomyK代表 / ACCESS共同創業者)
5/2	「Mobile Innovation and You」 Google Inc. Chris Yerga (Engineering Director)
5/9	「食卓造景学」 株式会社ライフスケープマーケティング 齋藤 隆 (代表取締役会長)
5/23	「世界最大のクリエイティブプラットフォームpixivの グロース戦略」ピクシブ株式会社 伊藤浩樹 (グロース統括)・ 清水智雄 (開発ジェネラルマネージャー)
6/13	「日本のインターネットサービスは 世界でどのようなポジションを取れるか」 株式会社ディー・エヌ・エー 小林 賢治 (取締役)
6/20	「グローバルコミュニケーションアプリ「LINE」の成長と戦略」 LINE株式会社 森川 亮 (代表取締役社長)
6/27	「リクルートが展開するWebサービスの“裏側”」 ※241 株式会社リクルートテクノロジーズ 米谷 悠 (執行役員CTO)
7/4	「ニコニコのWEBサービスが及ぼす社会的影響の解説と考察」 株式会社ニワンゴ 杉本 誠司 (代表取締役社長)
7/11	「広告事業におけるビッグデータ分析と数値モデルの構築」 株式会社サイバーエージェント 佐藤 真人 (執行役員 最高技術責任者 (CTO))・吉田 岳彦 (エンジニア)
7/18	「Yahoo! JAPANにおけるビッグデータの活用とその舞台裏」 ※241 ヤフー株式会社 安宅 和人 (チーフストラテジオフィサー)

※講演者, スケジュール, 講義室は都合で変更になる場合があります。

東京大学 ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム

# 講義例2 : The 官僚 (冬学期 金曜18:30~20:00)

		経産省, 総務省のTOP官僚コーディネートによる講義
第1回	キックオフ (鈴木茂樹, 松永明)	
第2回	総務省 大臣官房総括審議官	鈴木茂樹
第3回	経済産業省 大臣官房審議官 (経済産業政策局担当)	松永 明
第4回	総務省 情報通信国際政略局長	阪本泰男
第5回	経済産業省(現NEDO出向中)	中野剛志
第6回	野村総合研究所 顧問、 東京工業大学客員教授((元)総務省総務審議官(国際担当))	寺崎 明
第7回	国土交通省大臣官房審議官	藤井 健
第8回	内閣官房情報通信技術 (IT) 総合戦略室 内閣参事官 (博士)	市川 類
第9回	国土交通省(現資生堂出向中) (株)資生堂 アジアパシフィック営業部インド戦略室次長	古澤 ゆり
第10回	農林水産省農村政策部長	佐藤速水
第11回	プロフェSSIONAL コネクター	勝屋 久
第12回	財務省 財務総合政策研究所長	中原 広
第13回	環境省廃棄物・リサイクル対策部 リサイクル推進室長	庄子 真憲
第14回	官房副長官補 ((前)防衛研究所長)	高見澤 将林
第15回	厚生労働省 (前)健康局長, (現)千葉県病院事業管理者 (病院局長)	矢島鉄也

※2013年度の講義担当者リスト, 2014年度版は作成中



# GCLの魅力（国際性）

多彩なインターンシップを支援※以下, 実施例（抜粋）

- US原発対応最先端ロボティクス技術調査
- US希少難治性疾患患者会調査研究
- UK臨床心理学調査研究
- Stanford University VIA (Volunteer in Asia) Program
  - ①Global Leadership & Engagement Program (GLE)
  - ②Exploring Social Innovation Program (ESI )

など



# GCLの魅力（創造性）

## 学生の企画・プロジェクトを強力支援

- GCL学生企画イベント（Rodney Allen Brooks vs 東大生）
- GCL News Letter (<http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp/gclnewsletter/>)



世界を変え、未来を創る。  
羅道隆夫教授（プログラマコーディネーター）インタビュー



社会を変えるための素養を。

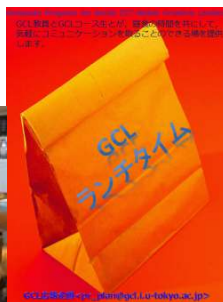


人を知り、社会を知る。



無謀さを追求せよ。

## ● GCL Lunch



### 浦野さん（一期生）

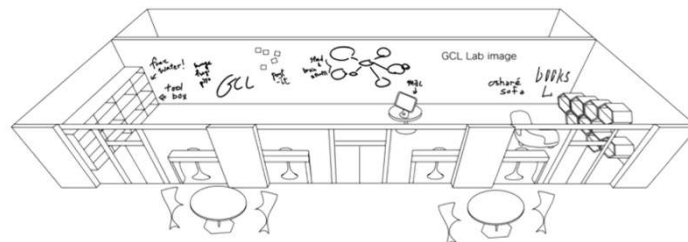
私はいじめに関する研究をしており、ネットいじめに関心があるため今回参加しました。

近年、青少年の携帯電話所有率の増加やインターネット利用の長時間化を背景とし、SNSを介した「ネットいじめ」が新たないじめの形態として注目され始めています。ネットいじめも従来のいじめ同様、その被害者に様々な心理社会的悪影響を及ぼし得るため、その発生メカニズムの解明や予防・介入法の策定は喫緊の課題となっています。

今回の訪問を通して、LINEではサービス内でトラブルが発生することを未然に防ぐために、専門部署を設置し、全国規模でLINEの望ましい使い方や使用上の注意点に関する講演を行うなど、さまざまな対処をしていることを知りました。そして、ネットいじめの原因はサービスそのものにあるのではなく、仲間はずれを作ること快感を感じてしまう人間の心にあることに、改めて気づかされました。

## ● シンポジウム等での情報発信など

## ● GCLラボ



2020年のITと  
社会の在り方について  
話す笹渕さん（一期生）

# GCLの魅力（社会性）

緊急課題であるビッグデータなどに関する  
社会連携プロジェクトの実施  
(以下, 連携機関)

- ビッグデータ懇話会  
(JSA 日本規格協会 標準化研究センター,  
IPA 情報処理推進機構 技術本部  
国際標準推進センター, 日本銀行など)
- CIO百人会 (経済産業省,  
JUAS 日本情報システム・  
ユーザー協会)
- 千葉市, 国保旭病院
- NBDC バイオサイエンス  
データベースセンター
- ISO  
など

Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)  
**Big Data × Standardization**

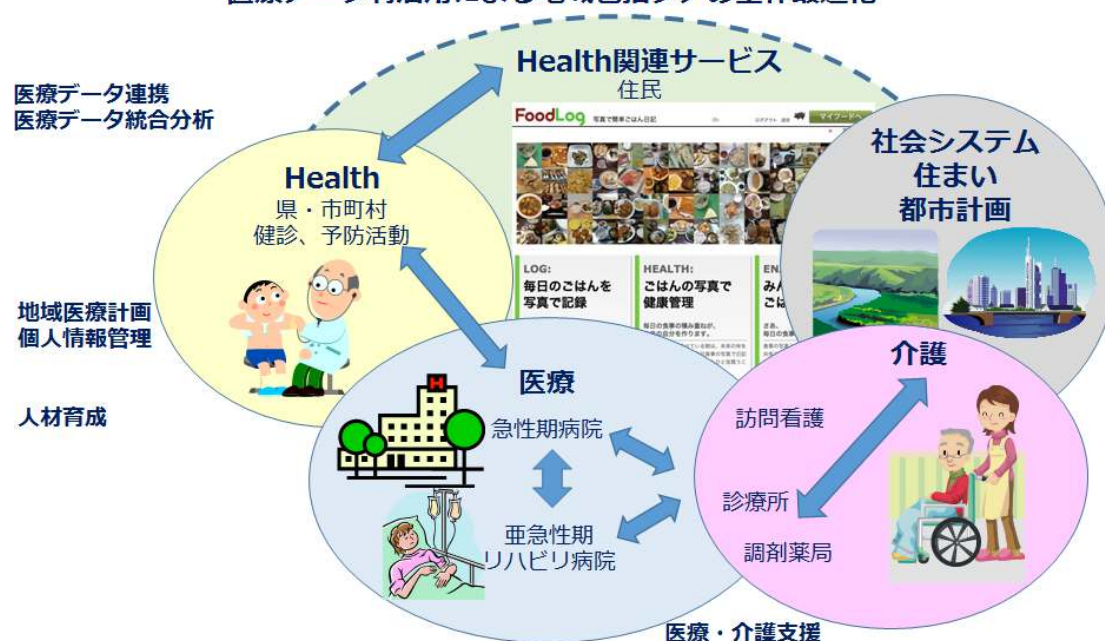


**6th November, 13:30-17:10**  
**Eng. Bldg.2 Lecture room 241**

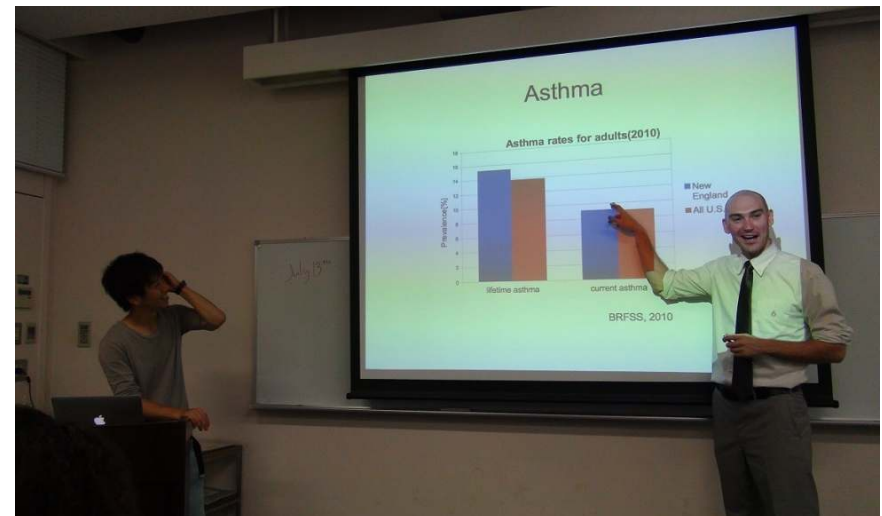
13:30-13:35 Opening:  
Dr. Shuichi SAKAI, Dean & Professor (U-Tokyo / GCL)  
13:35-14:05 keynote speech: Big data and data standardization  
Dr. Masaru Kitsuregawa (Director General (NII),  
Professor (U-Tokyo / GCL) )  
14:05-14:25 Speech 1: Junichi Eguchi (METI)  
14:25-14:45 Speech 2: Akimichi Takemura (U-Tokyo / GCL)  
14:45-15:05 Speech 3: Masanori Kusunoki (Yahoo Japan)  
15:05-15:25 Speech 4: Shuichi Tashiro (IPA)  
15:25-15:45 Speech 5: Daniele Gerundino (ISO)  
16:00-17:00 Panel Discussion  
Moderator: Masami Tanaka (JSA)  
Paneller: Speakers (Speech 1 - 5)  
17:00-17:10 Closing: Masami Tanaka (JSA)

Hosted by:  
Graduate program for Social ICT Global Creative Leaders(GCL), The University of Tokyo,  
The Japanese Standards Association (JSA)  
E-mail: gd\_symposium@adm.i.u-tokyo.ac.jp

医療データ利活用による地域包括ケアの全体最適化



- **プロのネイティブ講師陣による英語プレゼン講座**
  - 大学・企業における指導経験多数
- **少人数クラス（最大8人編成）での密着個別指導**
- **各生徒の現状英語レベルに応じたクラス分け・フィードバック**
  - Plan, Prepare, Present
  - Objects, Definitions, Processes
  - Visual Aids, Body Language
  - Voice Skills
  - Question and Answer



# GCLの魅力（密着多元評価）

- Global Creative Leaderとしての資質を見極める
- 学生評価委員会で評価システムを構築・改良
- 密着：一発勝負ではない継続的な評価
- 多元：一元的でなく多様な能力の評価，学内・学外からの評価
  - 社会的先導力（グローバルデザインWS(GDWS), プロジェクト実践, メンター評価)
  - 価値創造力（GDWS, プロジェクト企画・実践, メンター評価)
  - 組織力・コミュニケーション能力（GDWS, TOEIC全員受験, プロジェクト実践, メンター評価）.
  - 専門的能力・技能（各専攻分野）.
- 1年次12月にQualifying Exam.
  - 研究能力および専門的学力に関する推薦書
  - 研究計画書の提出
  - 履修状況・履修計画を提出
  - 密着多元評価結果
  - インタビュー
  - プレゼンコンペ



プレゼンコンペ

# GD TECH TALK SERIES

(プロジェクトインキュベーション機構長 浅見徹)

# プロジェクト・インキュベーション

## ～社会課題をソーシャルイノベーションプロジェクトで解決～

### ● 学生と社会とのパイプ構築：

- 社会（産官民学）と連携し、学生の対外活動を強力に支援

### ● GCLインターンシップ：

- 国外インターンシップ：異文化経験とグローバルな問題に挑む
- 学生企画型：インターンシップを自ら企画して提案
- 武者修行型：各機関を渡り歩き、プレゼンし議論を挑む

### ● ソーシャルイノベーションプロジェクト運営支援：

- 社会課題をICT利活用よるプロジェクトで解決

### ● Global Design Tech Talk Seriesの企画：社会（産官民学）の第一線の見識者を分野や国境を越えて招待し、社会課題について、学生が白熱討論を行う。

- Global Design – Symposium 14
- Global Design – Lecture 18
- Global Design – Seminar 11
- Global Design – LRC (Leading Researcher Café) 3
- Global Design – BBS (Brown Bag Seminar) 2

※2013年度開催のもの（3月末までに開催予定を含む）

# Global Design Tech Talk Series

平成24年度 博士課程教育リーディングプログラム

English

サイト内検索

検索

## 東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム

ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラムは、情報理工学系研究科、情報学環・学際情報学府、工学系研究科、農学生命科学研究科、医学系研究科、教育学研究科、法学政治学研究科から成る東京大学の7研究科による合同プロジェクトです。

- ホーム
- このプログラムについて
- コースについて
- お問い合わせ・アクセス
- GCL工房
- リンク
- GDWS
- GCL TechTalk シリーズ
- インターンシッププログラム
- プログラム担当者
- GCLニュースレター

情報理工学系研究科

コンピュータ科学専攻

数理情報学専攻

ホーム > イベント

### ○ イベント

[2014/01/22 Global Design Seminar : ショッピングの未来～コネクテッドコマースとは](#)

[2014/1/15 Global Design Lecture : ITとこれからの夢、そして次世代リーダーへの期待](#)

[2013/12/16 \(R2P\) Global Design Leading Researcher Cafe](#)

[2013/12/16 \(R2P\) Global Design Lecture : UI/UX研究の最前線とソーシャルICTにおけるヒューマンシステムの今後について](#)

[2013/12/11 Global Design Lecture : デジタル化の脅威 ～デジタル化の波が押し寄せている～](#)

[2013/12/08 2013年GCLプレゼンコンペティション](#)

[2013/12/03 Global Design Symposium: シンポジウム「情報センシングの展開 ～HCI から](#)



# Global Design – Symposium

東京大学 ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

## Global Design Symposium Social ICT × Challenge ～ソーシャルICTが導く明るい未来～

司会：浅見 隆 (情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授)

【第1部】ソーシャルICTに関する基礎  
13:15～13:20 開会挨拶  
13:20～13:25 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
13:25～13:30 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
13:30～13:35 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
13:35～13:40 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆

【第2部】  
15:00～15:05 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
15:05～15:10 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
15:10～15:15 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
15:15～15:20 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆  
15:20～15:25 東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 GCL 育成プログラム 実行委員会 代表者 浅見 隆

5月31日(金) 13:15～18:00(開演:12:45)  
東京大学工学部2号館1階213講義室

## ICT が拓く心の健康イノベーション ～生きる力を育てる「心いき」東大プロジェクト～

司会：浅見 隆 (情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授)

【第1部】ソーシャルICTによる挑戦 (13:10～13:40)  
◆ ソーシャルICTによるイノベーションと人材育成  
◆ 産学連携によるプロジェクトイノベーション

【第2部】「心いき」東大プロジェクトの発展に向けて (13:50～15:00)  
◆ 心いきとICTの融合による新たなサービスを開発する  
◆ 産学連携によるイノベーションの発展を促す

【第3部】心をはかすICTサービス産業の創出のために (15:10～16:00)  
◆ ICTを活用した最新産業創出に向けて、今が必要  
◆ 心をはかすサービス産業の創出に向けて、今が必要

【第4部】ディスカッション (16:00～16:55)  
◆ 心をはかすサービス産業の創出に向けて、今が必要

日時：2013年7月16日(火) 13:00～17:00  
場所：東京大学伊藤国際学術研究センター  
伊藤恩恵ホール  
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/nirc/>

## Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

### Social ICT × Deeply Programmable Network/Software Defined Network and Beyond

司会：浅見 隆 (情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授)

【第1部】開会挨拶 (09:00-09:10)  
◆ 開会挨拶 (09:10-09:25)  
◆ Keynote speech 1: Toshihiro Matsui (NICT)  
◆ Keynote speech 2: Tomonori Aoyama (Keio University)  
◆ Keynote speech 3: Chip Elliott (BBN/GENI Project Office)

【第2部】11:00-11:30 Invited speech 1: Fabian Schneider (NEC/ONF)  
◆ 11:30-12:00 Invited speech 2: Kazuaki Obana (NTT/NFV)

【第3部】12:00-12:30 Invited speech 3: Glenn Ricart (US Ignite)  
◆ 12:30-13:00 Invited speech 4: Mark Beraman (GENI)  
◆ 13:00-13:30 Invited speech 5: Inder Monga (Easnet/OGF)  
◆ 13:30-14:00 Invited speech 6: Akihiro Nakao (The University of Tokyo/GCL/ITRC/NICT)

【第4部】14:00-14:30 Keynote speech 4: Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL)

16:00-17:50 Panel:  
(Chair) Akihiro Nakao (The University of Tokyo/GCL/ITRC/NICT)  
(Panelist) Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL),  
Asumi Takahara (NTT), Motonori Shindo (VMware K. K.),  
Chip Elliott (GENI), Fabian Schneider (ONF),  
Kazuaki Obana (NFV), Glenn Ricart (US Ignite),  
Mark Beraman (GENI), Inder Monga (OGF)

Introduction to Exhibition: Hiroshi Mano (Allied Telesis/ITRC)  
Closing: Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL)

2013年9月6日(金) 9:00-17:50  
東大本郷キャンパス 工学部2号館1階213大講堂  
GCL学生 (コース生・RA・TA) 参加費無料  
<http://www.gd.u-tokyo.ac.jp/news/2013/09/06-global-design-symposium-2/>  
The 3rd International Symposium on Network Virtualization

## Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

### 社会共創ロボティクス-ロボット化産業をめざして- Global Design Symposium on Community Co-creation Robotics

司会：浅見 隆 (情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授)

【第1部】開会挨拶 (10:20-10:30)  
◆ 開会挨拶 (10:30-10:45)  
◆ Keynote speech 1: Toshihiro Matsui (NICT)  
◆ Keynote speech 2: Tomonori Aoyama (Keio University)  
◆ Keynote speech 3: Chip Elliott (BBN/GENI Project Office)

【第2部】11:00-11:30 Invited speech 1: Fabian Schneider (NEC/ONF)  
◆ 11:30-12:00 Invited speech 2: Kazuaki Obana (NTT/NFV)

【第3部】12:00-12:30 Invited speech 3: Glenn Ricart (US Ignite)  
◆ 12:30-13:00 Invited speech 4: Mark Beraman (GENI)  
◆ 13:00-13:30 Invited speech 5: Inder Monga (Easnet/OGF)  
◆ 13:30-14:00 Invited speech 6: Akihiro Nakao (The University of Tokyo/GCL/ITRC/NICT)

【第4部】14:00-14:30 Keynote speech 4: Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL)

16:00-17:50 Panel:  
(Chair) Akihiro Nakao (The University of Tokyo/GCL/ITRC/NICT)  
(Panelist) Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL),  
Asumi Takahara (NTT), Motonori Shindo (VMware K. K.),  
Chip Elliott (GENI), Fabian Schneider (ONF),  
Kazuaki Obana (NFV), Glenn Ricart (US Ignite),  
Mark Beraman (GENI), Inder Monga (OGF)

Introduction to Exhibition: Hiroshi Mano (Allied Telesis/ITRC)  
Closing: Tohru Asami (The University of Tokyo/GCL)

2013年9月13日(金) 10:20-17:00  
東京大学本郷キャンパス 理学部小柴ホール  
[参加費無料・お問い合わせ] <http://robotopia.sakura.tv/news/1307>

## Future LTE and network optimization for M2M support

2013年11月28日(木) 13:00-18:20  
本郷キャンパス工学部2号館 221講義室

13:00-13:15 Opening speeches  
(The University of Tokyo, Prof. Tohru Asami)

13:15-14:50 Operator speaker-1  
(NTT DOCOMO, Takahiro Asai)

14:50-15:35 Ericsson speaker-1  
(Ericsson Research, Joachim Sachs)  
on Future LTE (3GPP Rel-12 and beyond) and network optimization for M2M support

15:35-16:10 Operator speaker-2  
(Softbank Mobile, Yoshihiko Nodera)

16:20-17:05 Ericsson speaker-2  
(Ericsson Research, Jan Holler)  
on IoT/M2M technologies including data collection, information modeling, data analytics, automation

17:05-17:40 Operator speaker-3  
(KDDI, Satoshi Konishi)

17:40-18:15 Panel discussion  
(5 speakers, chaired by Prof. Tohru Asami)

18:15-18:20 Closing  
(The University of Tokyo, Prof. Tohru Asami)

GCLプロジェクトイノベーション機構  
e-mail: [pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp](mailto:pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)

## The 1st Social ICT Research Center Symposium

### 新たな社会情報基盤を目指して ～社会情報基盤における個人認証の役割～

司会：浅見 隆 (情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授)

13:30-13:35 開会挨拶  
13:35-14:00 「(仮) ソーシャルICT研究センター」の目指す未来  
14:00-14:30 「(仮) 電子認証と個人認証」  
14:30-14:55 「(仮) ソーシャルICT研究センター」の目指す未来  
15:00-15:30 「(仮) ソーシャルICT研究センター」の目指す未来  
15:30-15:55 「(仮) ソーシャルICT研究センター」の目指す未来  
15:55-17:25 パネルディスカッション「社会情報基盤における個人認証の役割」

10月28日(月) 13:30-17:30(開場13:00)  
東京大学弥生講堂 一条ホール

## Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

### Big Data × Standardization

6th November, 13:30-17:10  
Eng. Bldg.2 Lecture room 241

13:30-13:35 Opening:  
Dr. Shuichi SAKAI, Dean & Professor (U-Tokyo/ GCL)  
keynote speech: Dr. Masaru Kitsuregawa,  
Director General (NII), Professor (U-Tokyo / GCL)

14:05-14:25 Speech 1: Junichi Eguchi (METI)  
14:25-14:45 Speech 2: Akimichi Takemura (U-Tokyo / GCL)  
14:45-15:05 Speech 3: Masanori Kusunoki (Yahoo Japan)  
15:05-15:25 Speech 4: Shuichi Tashiro (IPA)  
15:25-15:45 Speech 5: Daniele Gerundino (ISO)  
16:00-17:00 Panel Discussion  
Moderator: Masami Tanaka (JSA)  
Panelist: Speakers (Speech 1-5)

17:00-17:10 Closing: Masami Tanaka (JSA)

日時：2013年10月10日(木)  
13:20～17:00(開場12:30～)

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター  
伊藤恩恵ホール (本郷キャンパス 西門側)  
<http://www.gd.u-tokyo.ac.jp/ext01/nirc/>

## 日英共同開発「考え込み防止」認知行動療法による 折れない心を育てるWeb研修サービス ～若手社員・学生のストレスマネジメントの新しい形～

10月10日(木) 13:20～17:00(開場12:30～)

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター  
伊藤恩恵ホール (本郷キャンパス 西門側)  
<http://www.gd.u-tokyo.ac.jp/ext01/nirc/>

## 東京大学 マイナンバー制度に関するシンポジウム

# MY NUMBER

2013年11月18日(月)  
13:00～17:00  
東京大学 弥生講堂 一条ホール

13:00-13:10 開会挨拶 城山英明 (東大 政策ビジョン研究センター長/公共政策大学院副院長)

13:10-13:20 総長挨拶 濱田純一 (東大 総長)

13:20-13:50 番号制度とマネジメント： 向井治紀 (内閣官房)  
13:50-14:20 番号制度と情報技術： 山口英 (奈良先端大)  
14:20-14:50 番号制度と法律： 宇賀克也 (東大 法政政治学研究所)

15:10-17:00 パネルディスカッション  
モデレータ： 須藤修 (東大 情報学専攻)  
パネリスト： 向井治紀, 山口英, 宇賀克也

17:00 閉会

主催：東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授 浅見 隆  
共催：東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
後援：東京大学 情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター  
協賛：三井住友カード株式会社

問合せ先: [gd\\_symposium@adm.i.u-tokyo.ac.jp](mailto:gd_symposium@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

## 情報センシングの展開 HCI から Urban Informatics まで

2013年12月3日(火) 13:30～17:00  
[会場] 東京大学福武ホール・B2 福武ラーニングシアター  
[参加費] 無料 事前登録不要

13:30-13:45 開会挨拶  
13:45-14:00 総長挨拶  
14:00-14:15 総長挨拶  
14:15-14:30 総長挨拶  
14:30-14:45 総長挨拶  
14:45-15:00 総長挨拶  
15:00-15:15 総長挨拶  
15:15-15:30 総長挨拶  
15:30-15:45 総長挨拶  
15:45-16:00 総長挨拶  
16:00-16:15 総長挨拶  
16:15-16:30 総長挨拶  
16:30-16:45 総長挨拶  
16:45-17:00 総長挨拶

17:00 閉会

主催：東京大学 情報理工学系研究科 情報学専攻 准教授 浅見 隆  
共催：東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
後援：東京大学 情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター  
協賛：三井住友カード株式会社

問合せ先: [gd\\_symposium@adm.i.u-tokyo.ac.jp](mailto:gd_symposium@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

# Global Design – Lecture & Seminar (抜粋)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Lecture

災害時に有効な  
ネットワーク技術への展望  
浅見徹教授(プロジェクトインキュベーション機構長)



4月30日(火) 15:30-17:00  
工学部2号館10階 電気系会議室5

これまで日本で行われてきた代表的な耐災害ネットワーク研究と東日本大震災時の情報通信ネットワークの被災を定量的に総括し、次世代の耐災害ネットワークに向けた検討課題を紹介する。

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Seminar



### Social ICT × Entertainment

DeNAが3月下旬にローンチした新しい音楽サービスGroovyについて、新しいサービスを生み出し、開発し、育てていく技術的背景、面白さを開発担当者より解説する。

4月25日(木) 13:00~14:30  
工学部6号館3階 セミナー室AD

講演者: 千條吉基(株式会社ディー・エヌ・エー)  
2006年 東京大学大学院情報理工学系研究科(システム情報学専攻)卒業。  
ソニーエレクトロニクス(現ソニー)入社。スマートフォンのアプリケーション開発に従事。  
2011年8月株式会社ディー・エヌ・エー入社。  
現在エンターテインメント事業本部システム課部長として新しい音楽サービスGroovyを担当。

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Lecture

セキュリティと倫理  
守谷学



(経済産業省 商務情報政策局 情報プロジェクト室 室長補佐)

工2号館10階 電気系会議室5

6月10日(月) 18:30~20:00

司会: 奥村裕一(公共政策大学院 客員教授)

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Seminar



### 無料通話サービス 「comm」を支える技術

6月13日(木) 18:30~20:00  
工学部2号館3階 電気系会議室1AB

大規模なスマートフォンアプリの開発や運用体制について解説する。  
(参考: <http://codezine.jp/article/detail/7028>)

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Lecture

ITユーザーの法と倫理  
大谷和子(日本総合研究所 法務部長)



工2号館10階 電気系会議室5

6月17日(月) 18:30~20:00

6月24日(月) 18:30~20:00

司会: 奥村裕一(公共政策大学院 客員教授)

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

St 東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

## Global Design Seminar



### 大規模データマイニング ~ mobageを支える技術 ~

6月27日(木) 18:30~20:00  
工学部2号館3階 電気系会議室1AB

友部博教 (SG本部X-Function部 分析グループ グループリーダー)  
東京大学大学院情報理工学系研究科にて、博士(情報理工学)を2004年に取得。  
研究では「インターネットからの人間関係を抽出すること」をテーマに、  
データマイニングを活用。  
東京大学助教など、7年の学術研究生活を経て現職。  
データマイニングを応用し、「あのひと検索スライサー」 「Bijostagram」  
などのWebサービスの起業経験もある。

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

# Global Design – LRC (Leading Researcher Café)

東京大学 ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

## Global Design Leading Researcher Café



日時: 6月27日(木) 16:30-18:30

会場: 工学部新2号館3階 電気系会議室1A/B

【第1部】

16:30-16:50 大胆に動き繊細に情報処理する  
花鳥風月ロボティクスの展望

知能機械情報学専攻 米倉将吾

16:50-17:10 うつ病による休職者への職場復帰支援  
—臨床心理実践とソーシャルICTの融合—  
総合教育科学専攻 川崎舞子

17:10-17:30 E-Commerce, Technology, Globalization  
楽天技術研究所 三條正裕

【第2部】

17:30-18:30 第1部の講演者と  
GCL学生によるインタラクティブアワー

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)



Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

## Global Design Leading Researcher Café



【第1部】

16:30-16:50 創造性を引き出すワークショップ  
デザイン: 産学連携事例の報告

学際情報学専攻 安斎 勇樹

16:50-17:10 情報技術が可能にしたソーシャル・  
ミュージックビデオサービス

コンピュータ科学専攻 中嶋 誠

17:10-17:30 グローバル研究開発体制で進める

富士ゼロックスクラウドサービス  
富士ゼロックス株式会社 田中 徹

【第2部】

17:30-18:30 R2P (産学連携) メンバーと  
GCL学生によるフリーディスカッション

9月26日(木) 16:30~18:30  
工学部2号館3階 電気系会議室1AB

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (gcl\_pim@adm.i.u-tokyo.ac.jp)



# Global Design – BBS (Brown Bag Seminar)

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

**Global Design BBS**  
(Global Design Brown Bag Seminar)

Social ICT × Robotics

下山 勉 教授

2013年1月15日 (水) 12:00~  
工学部2号館 2階 展示室

東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

**Global Design BBS**  
(Global Design Brown Bag Seminar)

Social ICT × Mobile

2013年1月18日 (金) 13:00-14:30  
秋葉原拠点 輪講スペース

クアルコムジャパン株式会社 特別顧問 山田 純 氏を迎えて  
「Social ICT × Mobile」 Brown Bag Seminarを行います。

東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

**Global Design BBS**  
Late Tea Time Tech Talk

**Googleにおける  
自然言語処理技術R&D**  
賀沢 秀人 (<http://www.tedxtokyo.com/talk/kazawa/>)

さまざまなGoogle製品で自然言語処理をはじめとする人工知能技術が使われ始めています。この講演ではそうした技術の研究・開発が Google社内でいかに行われているか、また、そこで働いているエンジニアにはどのような経験やスキルが必要となるのか、実際に Googleで検索・翻訳の研究・開発を7年間行ってきた経験をもとにご説明します。

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

**Global Design BBS**  
(Global Design Brown Bag Seminar)

Social ICT  
×  
Standardization

2013年3月25日 (月) 13:00~14:00  
工学部2号館 2階 展示室

東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

**Global Design BBS**

Go code that  
grows with grace

Mr. Andrew Gerrand

2月13日 (水) 12:00- 13:00  
工2号館 3階 電気系会議室1AB

東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

2月13日 (木) 16:40~18:10  
工3号館 1F 電気系セミナー室 2・3

東京大学大学院情報理工学系研究科  
Graduate School of Information Science and Technology, The University of Tokyo

# 募集と採用

(入試・学位審査委員長 須田礼仁)

# コース生選抜方法

---

## 1年次：

- 3月，4月に2回実施、修士課程入学（予定）者。
- 選抜方法（最終版）：  
応募者の申請書を、運営協議会の教員により評価
  - 学生一人あたり、4名の教員で採点
  - 申請書を4段階で評価  
悪い ← 1 2 4 5 → 良い（※3はつけない）
  - 平均4点以上の者を合格とする

## 博士編入：

学業・能力，社会経験・人物，プロジェクト計画，面接，グループディスカッションで評価。募集要項等参照（資料）。

# 優秀な学生を獲得する方策： インセンティブ，学業への専念への支援。

---

## ● 年次進行と経済支援等

- 1年次（M1）60名は，基礎固め&視座・認識涵養&進路検討。  
奨励金なし。実践英語演習無料・TA機会・社会との接点。
- 2年次（M2）20名に月額12万円の奨励金，  
海外インターンシップ費用支援。  
実践英語演習無料・TA機会・社会とのコネクション  
（以下同様）。
- 3年次（D1）30名に月額15／18／20万円の奨励金
- 4年次（D2）25名に月額15／18／20万円の奨励金
- 5年次（D3）25名に月額15／18／20万円の奨励金

## ● 趣旨

- 博士進学を前提とした5年間のプログラム
- 研究テーマに応じて既存コースに戻るのを妨げない（3年次まで）
- 毎年の評価で選抜（4年次進学まで）と奨励金更改を実施する

# GCLインターンシップ<sup>®</sup>

(プロジェクトインキュベーション機構長 浅見徹)



# GCLインターンシップ

---

- 長期間： 原則，修士2年時に，海外3カ月＋国内3カ月
- 国外インターンシップ：  
異文化経験とグローバル社会課題に挑む
- 学生企画型： インターンシップを自ら企画して提案  
(プロジェクトインキュベーション機構が支援)
- 武者修行型： 各機関を渡り歩き、プレゼンし議論を挑む
- 多彩なインターンシップを産官民学・海外の外部機関  
との密な連携によりメンターを確保し，効果的に運用する。
- **社会人学生は，GCLインターンシップに代わる社会人経験を  
レポートして提出することで免除も可能。**

# 従来型インターンシップとGCLインターンシップの比較

	従来型インターンシップ	GCLのインターンシップ
1. 経費負担について	大学と企業とで協議の上、旅費、交通費、宿舍及び宿泊費、教材の支給並びに経費負担を明記する。	大学が旅費、交通費、宿舍及び宿泊費、教材の支給並びに経費を負担する。
2. テーマ設定・成果について	大学は、研修生に対してテーマの設定、指導、成果について責任を負う。企業は、インターンシップの実施場所及び環境を提供する。	研修生がテーマを設定し、成果について責任を負う。企業は、インターンシップの実施場所及び環境を提供する。
3. 機密保持について	機密情報は企業の事前の同意なしに第三者に提供、開示又は漏洩しないよう、また本インターンシップ以外の目的で使用しないよう義務付けるものとする。	
4. 事故の補償について	研修生の本インターンシップ中の事故を補償するために、大学が指定する学生用教育研究災害傷害保険に加入させる。	
5. 発明に係る特許について	当該発明に係る特許は、研修生と企業の間で権利の帰属について別途、取り決めるものとする。	学生と企業の共同プロジェクトに大学が「出資」しているともみなすことができ、大学側に知財権を要求できる余地が残る。

東京大学GCLにおける  
電波利用に関する研究（アプリケーション）事例

○農業ロボット

○児童生徒の通学時の異常状況把握

○屋内空間情報把握を目的としたセンサネットの研究

等

以上